



障害児者支援センター 虹

2005年9月1日発行



社会福祉法人美熊野福祉会

〒647-0072 和歌山県新宮市蜂伏 13 番 43 号

TEL 0735-31-3700 (代)

FAX 0735-31-5520

Eメール sien@fm.rifnet.or.jp

ごあいさつ

社会福祉法人 美熊野福祉会
理事長 松村 元弘

皆様方には平素より私ども「美熊野福祉会」(杉の郷、杉の郷えぼし寮、障害児者支援センター 虹)に対しまして温かいご理解と多大なご支援ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

お蔭様で三つの施設ともに順調で、利用者の皆様方には明るく和やかに落ち着いた日々を送っていただいております。

最近の障害者福祉を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。一昨年4月大きな期待の中、支援費制度がスタートしましたが、一年が経過しないうちに財源不足となり、介護保険の見直し論議と重なり検討課題となりました。こうした状況の中で今後の障害保健福祉施策について厚生労働省より「グランドデザイン(案)」が示され、これに伴う「障害者自立支援法(案)」が7月15日衆議院を

通過しました。8月8日衆議院の解散により廃案となりましたが、この新しい「自立支援法(案)」については、期待とともに、大きな不安が障害者・家族、事業者の間で渦巻いています。施設体系の全面的な改定により、施設運営については今後大変厳しく新しい課題が多く出てくることと思いますが、私どもはこれを充分認識して「人間尊重」と「利用者本位」の原則を忘れることなく、常にサービスの向上を目指し、健全な経営に努めて行かねばならないと思っています。

障害のある方もない方も共に地域において生き生きと暮らすことのできる社会を目指し、ノーマライゼーションの理念のもと、障害者の自立と社会参加に向け、役職員一同懸命に取り組んで参りたいと思います。今後とも皆様方の格別なご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

通所更生部より

通所更生部では主な活動として散歩や壁面製作、牛乳パックを利用したスツールの製作やビーズ作業を行っています。週1回の調理実習では、おやつ作りや誕生会のケーキ作りなど楽しみにしています。2カ月に1回ほどのペースですが施設外活動も取り入れ外食にも出かけています。



春には新宮港に停泊していた豪華客船「パシフィックピーナス号」の見学に出かけました。残念ながら入船はできませんでしたが、船の大きさに声を上げて喜びました。

7月より新メンバーも加わり、週に一度の重心通園「ひだまり」利用者との交流タイムは元気で賑やかなデイルームとなっています。(支援員 谷下)

虹まついのお知らせ

12月3日(土) 第3回 虹まつい を開催します。楽しい企画を準備中です。今年も不用品バザーを同時に開催しますので、ご家庭で眠っている使用可能な品など、ご提供下さいますようよろしくお願い致します。お伺いいたしますのでご連絡下さい。

障害児者支援センター虹 0735-31-3700

事務室より

虹が開所して2年半が経とうとしています。この間多くの方々よりいろいろな形で援助していただき、厚くお礼申し上げます。支援費制度の始まりと共に、法人としての初めての通所施設の経営とで不安の中のスタートでありました。これまで大人の利用者の方々と接してきた者として、子どもさんへの支援が多くなったことで、大人の入所施設とは違った支援の難しさを感じました。私は事務ですので利用者の方々と接する機会は少ないのですが、時々子どもさんと接する際に何気なく見える無邪気な表情に心が癒されるような気持ちになります。今後も地域に必要とされる施設でありたいと思っております。(事務長 内野)

重症心身障害児者通園事業(B型)「ひだまり」より

重症心身障害児者通園事業『ひだまり』がスタートし、1年半あまりが過ぎました。スタート時は5名だった利用者も今では8名と増えました。日中の活動は季節によって様々です。春、秋の気候のよい時期は散歩を中心に、夏、冬の暑さ、寒さの厳しい時期は室内で壁面飾りの製作やゲームを中心に行なっています。また、リハビリやストレッチも取り入れています。

6月にはウミガメ公園に遠足に行ってきました。7月には水遊び、ビニールプールに足をつけ楽しみました。今後も「明るく」「楽しい」「笑顔の絶えない」『ひだまり』として職員一同ガンバっていききたいと思います。(支援員 西村)



未就学児の部より

みくまの養護学校へ1名を送り出しましたが、新しいお友達が加わり、楽しい毎日を過ごしています。初めは人見知りをして担当者以外には泣き顔になっていたK君。今ではすっかり他の支援員とも慣れ親しみ、声を出して大喜び、笑顔一杯です。そして3年目を迎える会話も一段と活発になり、体力もついてきたMさん。公園に散歩に行つてはブランコ遊びを十分に楽しんでます。子ども同士の活動に加え通所更生の大人の方たちに優しく見守られながらスーパーでのお買い物・誕生会・七夕流しなどの活動にも一緒に参加させてもらっています。今年は野菜の苗植えにも一緒に参加し、水やり・収穫と実りある体験をしました。様々な活動を通して子ども達の成長には驚かされ、楽しい毎日を過ごしています。子ども達の未来に虹の架け橋を!!(支援員 下澤)



虹の食事では、季節の食べ物。旬の食材(地元で取れた物)を味わってもらいたいと思っています。今は食べたい物が何でも簡単に手に入る飽食の時代です。おいしい物もたくさんありますが、毎日

のきちんとした食事が最高の健康法だと思います。野菜や海藻もたっぷり取れるよう心がけています。「おいしかったよ!」という言葉が何よりも嬉しく励みになります。調理員一同、チームワークを大切に、また衛生管理・体調管理には十分に気をつけ、よりおいしく提供できるように日々頑張っています。(栄養士 上住)

児童デイサービス・児童短期入所 2005年夏休み

小・中・高学部あわせて延べ約450名のご利用があり、大変にぎやかな毎日でした。

